



## 自然と遊ぼう

暑い日が続きます。みなさま、いかがお過ごしでしょうか。これから夏休みという方も多いと思います。子どもたちが自然のなかでいきいきと遊ぶ姿は、見ているだけで元気をもらえる気がします。今市はちょっと足をのばせば、いままで知らなかった自然が発見できる場所です。私たち大人も、積極的に自然と遊ぶことで元気になれるのではと思います。

今回はいつもより気軽に書いてください、ということで原稿を集めてみました。お楽しみいただければ幸いです。

### 目次:

いちばん美しい景色 1

森と水とイワナと... 1

ばいかも  
梅花藻 はゆりかご 2

今年度の「川むしたんけん隊」 3

事務局より  
活動日誌 4

8月7日(土)  
久保田堰見学会

8月8日(日)  
南摩へ行ってみよう  
詳しくは4ページを

### いちばん美しい景色

友人に誘われて秋田駒ヶ岳まで行ってきた。夏休みの日曜日ということもあり、人、人、人。中高年の登山熱を実感した。翌月曜日は友人と別れて一人で乳頭温泉より乳頭山に向かった。こちらは人っ子一人おらず、素晴らしいブナ林の1時間ほどの登りの間、熊鈴を持参しなかったことを悔やんだほどであった。豊富な沢水にブナの保水力を感じ、新設されたヒバ製の木道から立ちのぼる素晴らしい香りを満喫してたりしてきた。

帰りは田沢湖駅より秋田新幹線に乗り、4時間後には文挾駅に降り立っていた。新幹線の窓からの風景は、その土地、その土地の変化に見飽きることもなく過ごせたが、車で家の近くまで戻ったところでハッとした。我が家の付近の起伏に富んだ集落が、夕日に照り映えて、掛け値なしに、今まで4時間眺め続けてきた風景の中で、もっとも美しく見えたのである。この美しい田園風景が末永く保たれるよう、祈るばかりだ。(森 通暁)

### 森と水とイワナと...

いつもより水の音が強く感じられる日は、人の気配もなく静かだ。  
深いみどりの中を流れる山沢に立ち、ああ...秋田に来たんだと心いやされる。  
この日のために巻いた、テレストリアル(陸生昆虫)のフライを結び、ここぞと思われるポイントに落す。  
「カポッ...何のためらいも無くそいつは、オレのフライに食いつく。  
あまのオレンジ色が鮮やかなニッコウイワナだ。  
ここ阿仁のイワナは、その豊かな自然と同様に実にキレイであらうかである。  
連日の雨天でも、にこりがすぐ取れるこの保水力は、森の持つチカラなのだろう。  
「みどりのダム」...この言葉を思い浮かべながら、今年も気ゴコロの知れた仲間と秋田の川でアソベた事に感謝...感謝。(隅 秀一)



ばいかも

## 梅花藻 は ゆりかご

今年度前半の「川むしたんけん」より

身近な川に出かけ、川の中の生き物を見つけることでその地域の自然度を知ろう、という「川むしたんけん」は、当会が子供達を対象に行っている活動です。おかげさまで春の恒例行事に育ってきました。今年で5回目となる活動は5月に行川で実施しましたが、見つかる生き物の種類や数の多いことが好評で、子ども達の中には“常連さん”も増えてきました。アミを手に、水の中の石をひっくり返すといろいろな生き物 - 水生昆虫を捕りこめます。カワゲラやカゲロウトビケラなどは幼虫時代を川の中で過ごすので、川虫と呼ばれています。この虫取り作業は大人でも絶対楽しめますので、会員の皆さんも次の機会にはぜひこの活動に参加されてみてはいかがでしょうか。きっと川のイメージが変わってくると思います。



センカイトビケラ



大きなカワゲラ

**行川の場合** (5月23日実施) 当日は雨模様のため気温も低かったのですが、子ども達は開始の合図を待ちきれず川の中をジャブジャブ。日光と今市の市境の沢に歓声が響き渡りました。保育園児から大人まで総勢30数名が作業に集中した結果、環境省の指標生物調査表の「きれいな水にすむ生き物」9種類のうちの8種類が見つかりました。なかでも5センチのカワゲラや10センチもあるヘビトンボには皆が驚かされました。また、植物片をらせん状にきれいにつないで巣にした[センカイトビケラ]という珍しいトビケラも今回初めて見つかりました。虫以外ではサワガニやカジカ、ヤツメウナギなど。毎回、講師として参加して下さる葛谷さん(栃木の水を守る連絡協議会代表)によると、「川虫の種類が多いというのは川の形態が複雑(自然の川ということ)であり、そこに合った生き物がたくさんいるということ。行川は豊かな自然に恵まれた川ということがよく分かる」ということでした。実施した場所は子どもも大人も皆がとても気に入っている所です。行川の自然の豊かさをたくさんの人にアピールするため、「川むしたんけん」を今後も充実させていきたいと思いました。(右ページに続く)

どんな虫がいるかな？

ヘビトンボ





## 田川の場合 (7月24日実施)

今春発足したNPO法人「和音」は[猪倉児童クラブ]を運営しています。そこに通う子ども達に「川むしたんけん」を体験させたいという理事さん達の要望があり、当会のスタッフは喜んで子ども達を田川の松ノ木橋に迎えることにしました。前日、会員でもある下猪倉区長の福田さんは土手の草刈をしてくださいました。

川に入るのは初めてという子どもが多かったのですが、気温が30度を越す日々、川の水の心地よさをしっかり覚えてくれたものと思います。川との付き合いはまず、足から始まるのですから。それにしても子ども達はすぐ水に慣れました。元気のいい子は流れの速いところで泳ぎたいようなそぶりをしています。この子はもう立派なカワガキ予備軍になりました。

今回、期待していたカワゲラは見つかりませんでした。すでに羽化して空に飛び立ったものと思われます。1時間ほどでしたが、プラナリア・カワニナ・ガガンボ・ヒラタカゲロウ・シロタニガワカゲロウ・ヒゲナガカワトビケラ・オニヤンマとコオニヤンマのヤゴ・コカゲロウ科の幼虫・シマイシヒルなどが見付き、川虫以外にはハグロトンボやオニヤンマの成虫・ドジョウ・ハヤ・カタツムリの幼虫なども目に付きました。

子ども達のアミに一番多く入っていたのはコカゲロウ科の幼虫でした。体長2~3ミリなのできちんとした種類を決められませんでした。この虫がどこで捕れたかという点、意外な事にそれは流れの速いところに生えている梅花藻の中でした。ここには餌となる植物プランクトンもあり、水の勢いや外敵からも身を守れます。幼虫達はここをゆりかごとして大人になる時期をじつくりと待つのでしょう。すごい知恵だと思いました。

もう一つ嬉しかったことは、どうしても川虫にさわれなかった子供が友達の真似をしてそれができるようになったこと。この関門通過はこの子にとって大きな出来事だったと思います。川虫に興味を持ち始めた子ども達にはその好奇心を失せさせることなく、次のステップを用意してあげることも今後の課題のひとつだと思います。定期的に子ども達と一緒に活動し、もっと身軽に川と親しむ機会をつくってあげたいものです。

それにしても今市の川にはまだまだ水のきれいな場所がたくさんあることを今回もまた教えられました。岸の芦群からしみ出てくる水のとて冷たかったこと。水温15~16度は湧水なのではないでしょうか。田川にはこうして注がれる水があることを考えると、「たんけん」はいろいろなることを作り出せそうです。子ども達の笑顔に新しい知恵をまた授けてもらえることを信じて。

(塚崎庸子)



## 事務局より・活動日誌

5月1日(土)「流域の会」定例会参加  
5月9日(日)今市の水・定例会(支援センター)  
5月23日(日)「川むしたんけん隊」(於・行川)  
6月5日(土)「流域の会」定例会参加  
6月19日(土)今市の水・定例会(支援センター)  
7月3日(土)「流域の会」定例会参加  
7月10日(土)今市の水・定例会(支援センター)

## ご参加ください 夏のイベント

### 久保田堰(黒川)見学会

8月7日(土曜日)  
午後2時:鹿沼市民情報センター集合  
主催:流域の会

板荷の久保田堰を見学します。  
現地見学後、センターに戻って会議となりますが、  
なかなか個人では行けないところですので、  
時間の取れる方はぜひご参加ください。

### 「今市の水を守る市民の会」南摩へ行ってみよう

8月8日(日曜日)  
午前9時半  
しんこう苑集合  
(大沢・木和田島)



鹿沼市南摩地区の  
「ダム建設予定地」を見る会です。  
途中、荒川上流の「石裂山瞑想の家」に立ち寄り、  
鹿沼の自然を満喫。午後3時頃には戻る予定。

## 編集後記

今月の新潟、福井の洪水被害、心からお見舞いを申し上げます。7月29日の毎日新聞社説に、「洪水を防ぐはずのダムからの大量放水が、堤防の決壊の一因とされていることにも注視したい。ダム自体の決壊を避けるための放水は必要としても、下流の住民の安全を確保する前に大量放水に踏み切るのは殺人行為に等しい」とありました。あらためて、インターネットで情報を探ってみました。「なぜ、南側の堤防が切れたのか分からない。ただ、上流の降りがずさまじく、二つのダムの放流量も想像以上。市の責任と言われても、仕方がない」(三条市行政課長)。「あの13日、いつものように10時ごろに店を開けに来ました。そして、その後11時過ぎに『まもなくダムが放流するので、避難して下さい』と警告された。「そのままその店にいと、あっという間に濁流の水位は家の下まで上がって来て危険な状況になっていた」(60代後半の店主)。「ダムから、決壊した三条諏訪地区まで約33キロ、車で川の流れの速度を測ると時速約15キロ前後であった。11時過ぎに放流を開始して、2時間ちょっとの時間をかけて下ってゆくと計算が合う。ちょうど堤防が決壊したのは14時ごろだった。すごい音と大きな波が押し寄せてきた感じ」(対岸の堤防からの目撃者)。「洪水に対するダムの有効性」を示すためのコンピュータシミュレーションの話はよく聞きます。そんな計算ができるなら、実際のデータに基づき、ダムの放水と水位の因果関係は、きちんと解明できるはず。今後の動きに注目したいと思います。(手塚)

## 連絡先

〒321-1102 今市市板橋1732-1 森方  
今市の水を守る市民の会

### 郵便振替口座

00140-4-535550

0288-27-2183 (8時~17時:森)

0288-26-3324 (17時~21時:塚崎)

<http://www.somesing.net/daiyagawa/>



グリーンズ  
シール  
残り

わずかです。

お問い合わせは

事務局または

三水堂つり具店

(0288-21-0217)へ

## 会費振り込みのお願い

本会は皆さんからの会費で運営されています。この通信の印刷・発送費用など、すべて会費からまかなわれています。

4月より新しい年度となっています。入会の継続をお願い致します。前年度から振り込みが無い場合、通信の発送を停止させていただきます。一口1,000円、一口以上を振り込み用紙で郵便局にてお支払い下さい。引き続き会員として本会のご支援をよろしくお願ひいたします。